

## 【あわら市】

### 1人1台1端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

あわら市では、令和2年度に「教育に関する大綱（第2次）」を策定し、「確かな学力の育成」や「ICT環境の整備」を基本方針の一つとして掲げており、ICTなどを活用して、児童生徒一人一人の個性や能力を最大限に引き出すための教育の推進を図ることや、ICTを活用した教育をより一層推進することを目標としている。

この目標の実現に向け、学校や生徒の実情を踏まえた上で、ICTを活用した新たな教材やアプリ・学習活動を積極的に導入し、児童生徒の資質・能力の育成を推進する。

#### 2. GIGA 第1期の総括

##### 1. 経緯と現状

GIGA スクール構想に基づき、令和2年度に小・中学校の児童生徒に1人1台端末を整備しており、この5年間で、学習用端末を使用するための ICT 環境の整備を進めるとともに、教育現場での活用を推進してきた。

##### 2. ICT 施策の実施内容

###### ・ネットワーク環境の強化

インターネットの接続方式をセンター方式からローカルブレイクアウト方式に変更するとともに、回線をメタル回線から光回線に変更したことにより、ネットワークの安定性と速度の向上を図った。

###### ・教育支援設備の導入

中学校に電子黒板機能付き大型提示装置を整備し、授業の質の向上に努めた。

###### ・学習活動の充実

整備した ICT 環境を活用することで、児童生徒が自ら情報収集を行い、共同編集、意見共有、ICT 端末を用いた発表など、さまざまな学習活動を行えるようになった。

##### 3. 課題

###### ・デジタル教材活用の低頻度

令和6年度の福井県の第2回学校教育 DX 進捗状況調査により、デジタル教材の活用頻度が都道府県平均を下回っていることが判明した。特に中学校での活用が不足している。

- ・個別最適な学びの不足

児童生徒が自分の考えをまとめて発表や表現をすることや、児童生徒間でのやり取り、自分の理解度や進度に合わせて課題に取り組むことが十分にはできていない。

### 3. 1人1台端末の利活用方策

あわら市では、GIGA スクール構想第2期において、端末を更新し、児童生徒1人1台の端末環境を維持し、効果的な利用促進を行うため、以下の取組を進める。

また、第1期で明らかになった課題を踏まえ、端末の利用や運用の質を向上させるための具体的な対策と改善策を検討していく。

#### (1) デジタル教材の積極的な活用

授業におけるデジタル教材の活用が県の平均を下回っていることが課題である。そのため、ICT 支援員による教職員への ICT 実践事例集の提示を行い、教職員の ICT 活用力の向上を図るとともに、児童生徒がよりデジタル教材を活用することができるようにする。

#### (2) 個別最適な学びの充実

児童生徒が自分の理解度や進度に合わせて課題に取り組むことができていないことが課題である。そこで、新たな AI ドリルを導入し、習熟度に応じた学習ができるようにする。また、Wi-fi 環境がない家庭でも学習することができるように、モバイルルーターの貸し出しを行い、すべての児童生徒が家庭学習を行うことができるようにする。さらに、Web 会議ツールを活用することで、不登校児童生徒が学ぶことができるようにする。

#### (3) 共同的な学びの充実

児童生徒が自分の考えをまとめて発表や表現をすることや、児童生徒間でのやり取り、自分の理解度や進度に合わせて課題に取り組めていないことが課題である。そこで、既存の授業支援アプリの更なる活用に加え、無償で使用できるアプリ等を導入することで、教師と生徒が互いにやり取りする場面を増やし、児童生徒が発表や表現できる機会を確保し、共同的な学びの充実を図る。